

2019

区分	必修	対象	PSB1年
----	----	----	-------

科目名	ソーシャル I		
開講期	前後期	単位数	6
講師名	江澤 勇介		

授業の到達目標・講義概要

ソーシャル=社会とは一体どんなものでしょうか？
 現在においては、この問の答えはひとつだけでなく、人それぞれで違うものなのかもしれません。ひとまず、この授業ではソーシャルの定義を一度「私の外側にあるもの」としてみます。「私」と「私の外側にあるもの」。その間で何を考え、何を行っていかかを考えます。言葉や写真や身振り手振りなど、様々な手法や考え方を学んでいきます。この二つの私と私の外側にあるものという概念をつなぎ、コミュニケーションしていくための基礎体力を培うことを到達目標とします。

授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	オリエンテーション	「私」と「私の外側にあるもの」授業概要の説明
	2	ワーク1「"好き"を伝える」こと	課題出題「"好き"を伝える」こと
	3		課題提出「"好き"を人に伝える」こと プレゼン
	4	基礎学習1 [言葉]	選ぶこと/選ばないこと 視点と編集の話
	5		形式と内容 どのように、何を話すのか
	6	基礎学習2 [写真]	写真を観ること[私たちは写真から何を受け取っているのか]
	7		写真を撮ること[いま、なぜ、ここに]
	8	基礎学習3 [社会]	情報環境の変化と受容する感性の変化
	9		モノの消費からコトの消費、イミの消費へ
	10	基礎学習4 [思考]	どのように考えるか、どのように決断するか
	11		ソーシャル と デザイン の関係性
	12	ワーク2「"好き"を伝える」こと2	課題出題「"好き"を伝える」こと2
	13		課題提出「"好き"を人に伝える」こと2 プレゼン
	14	ワーク3「"私"を伝える」方法	イントロダクション 名刺の制作
	15		"
後期	1	オリエンテーション	実践学習 地域の事例を見に行く 社会 と 私
	2	実践学習1 校外学習 [仮]	事例1 埼玉県北本市 郊外のまちづくりの事例
	3		リサーチの振り返り プレゼン
	4		事例2 埼玉県寄居町 まちづくり会社の事例
	5	実践学習2 校外学習 [仮]	リサーチの振り返り プレゼン
	6		事例3 埼玉県志木市 団地の活性化の事例
	7	実践学習3 校外学習 [仮]	リサーチの振り返り プレゼン
	8		未定
	9	実践学習4 校外学習 [仮]	リサーチの振り返り プレゼン
	10		未定
	11	実践学習5 校外学習 [仮]	リサーチの振り返り プレゼン
	12		ワーク4 アーカイブの作成
	13	ワーク4 アーカイブの作成	課題制作
	14		課題提出「"私"を伝える」こと プレゼン
	15	まとめ	

成績評価方法 100点満点として採点する。出席状況、課題内容、授業態度等から総合的に評価する。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。

テキスト 参考書

講義の特徴・形式と教員紹介 実習授業と講義形式の授業の両方を基本とする。担当教員は北本市観光協会に所属し、様々な街づくり、地域復興をてがけてきた。いままでの街づくりや地域復興などの豊富な経験や知識に基づき、ソーシャル的な観点をもったクリエイター育成に向けた授業を展開している。

2019

区分	必修	対象	PSB1年
----	----	----	-------

科目名	文章表現		
開講期	前後期	単位数	6
講師名	五十嵐 太二		
授業の到達目標・講義概要	<p>文章表現には様々な形式があるが、この授業では主にルポルタージュの手法を用いて文章を学んでいく。(ルポルタージュとは現地に赴き事実に基づいた報告をおこなうもの。文章と写真で構成される。)</p> <p>授業のゴール ~ 自分が興味をもった問題・事柄を文章(と写真)でまとめる事ができるようにする。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	オリエンテーション	授業内容説明、各目問題提起
	2	取材計画・準備	テーマ設定、リサーチ、取材場所選定、機材選び、発表媒体、予算等
	3	インタビュー	インタビューの方法、取材メモ、ポーズの取り方
	4	撮影マナー	撮影マナー、肖像権について
	5	作品発表	作品発表・講評
	6	同上	同上
	7	取材計画発表	各自が立てた取材計画を発表
	8		編集作業
	9		同上
	10	作品発表	作品発表・講評
	11	グループワーク①	社会的な問題をテーマにグループで取材をおこなう。その準備。
	12	同上	同上
	13	同上	同上
	14	作品発表	作品発表・講評
	15	同上	同上
後期	1	食レポ	食レポに挑戦
	2	同上	作品発表・講評
	3	同上	同上
	4	エッセイ	エッセイ
	5	作品発表	作品発表・講評
	6	同上	同上
	7	読書会	読書発表
	8	同上	同上
	9	予備	調整
	10	グループワーク②	社会的な問題をテーマにグループで取材をおこなう。その準備。
	11	同上	同上
	12	同上	同上
	13	作品発表	作品発表・講評
	14	同上	同上
	15	まとめ	まとめ
成績評価方法	授業中の積極性と提出物の評価。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。		
テキスト 参考書			
講義の特徴・形式 と教員紹介	<p>実習授業と講義形式の授業の両方を基本とする。担当教員はアフリカやアメリカで学んだ知識と経験を活かし、ナショナルジオグラフィックTVの通訳、コーディネーター、スチール担当として、様々な経験を積んでいる。写真家としてもアフリカを題材とした作品を発表している。いままでの海外経験や写真家としての豊富な経験や知識に基づき、海外での取材撮影の基礎を身に付けるための授業を展開している。</p>		

2020

区分	必修	対象	PSB2年
----	----	----	-------

科目名	クリエイティブシンキング		
開講期	前後期	単位数	6
講師名	松野 正也		
授業の到達目・講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ●経済成長を踏まえた社会課題をクリエイティブの力で解決する能力を鍛えます。 ●一線で活躍しているゲスト講師を迎え、クリエイティブの現場の事例から解決方法のヒントを探します。 ●課題提出がない時は「振り返りシート」を記入して提出していただけます。評価に影響はありません。 ●評価は、既視感のないもの、社会的意義があるアイデアをより高く評価します。 <p>【目標】クリエイティブシンキングで発想力を養うことを基軸としますが、モノ・コトを概念で捉えるコンセプチュアルシンキング、分析と判断力を高めるロジカルシンキングも平行して学び、説得力ある提案ができるようになることを目指します。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	オリエン～写真で表現①	講師&各自自己紹介：自分を表す10枚の写真をセレクトし発表
	2	写真で表現②	ペアになった相手を表す10枚の写真とコピーで表現
	3	広告ハンティング①	外出し、旬な広告を見つけてくる。広告表現の分析。分析シートを提出
	4	広告ハンティング②	引き続き、社会的課題解決につながる広告を見つけ、分析シートを提出
	5	広告の基礎①	伝えるから伝わるへ。広告の「自分ごと化」プロセスを学ぶ
	6	クリエイティブ・ダジャレ・シンキング	ウィットに富んだダジャレを生み出す思考力を鍛える
	7	ケーススタディ (課外授業)	アマナプロデューサーによる環境省と取り組んだ案件を紹介
	8	広告の基礎②	「What to say」と「How to say」 (ゲスト講師：ブランドア株式会社 藤島淳氏)
	9	広告の基礎③	世界の事例やCMを見ながら、What to sayとHow to sayを見出すトレーニング
	10	クリエイティブ・シンキング①	「写真で一言」の発想と「一言から写真」の発想/シート提出
	11	ロジカル・シンキング①	論理的思考を持つための演習を行う
	12	コンセプチュアル・シンキング①	物事を概念で捉える演習。本質を掘り起こし、課題やビジョンを定義化
	13	制作A with SDGs①	ペア又はチームを組んで取り組む共通課題を策定
	14	制作A with SDGs②	解決方法のアイデア出しを行い、ビジュアライズ
	15	制作A with SDGs③	プレゼンテーション&レビュー
後期	1	クリエイティブ・シンキング②	より深く発想を練り上げる訓練
	2	ロジカル・シンキング②	論理的思考を持つための演習/フレームワークの紹介
	3	コンセプチュアル・シンキング②	物事を概念で捉える演習。本質を掘り起こし、課題やビジョンを定義化
	4	広告の基礎④	コピーライティング講座 (仮) (ゲスト講師：ブランドア株式会社 藤島淳氏)
	5	エレベーターピッチ	短い時間で効率的に納得させるピッチ～メールの書き方
	6	ラフスケッチ&プロトタイプ	漠然なものを形にする。絵に描いて伝える力を磨く
	7	アート・シンキング① (課外授業)	IMAギャラリーで直感的なアートの捉え方とそれを解説する力を養う
	8	アート・シンキング② (課外授業)	「アートフォトのビジネス・社会への活かし方 (仮)」 (ゲスト講師：雑誌IMA編集長 太田 睦子氏)
	9	ケーススタディ (課外授業)	アマナプロデューサーによる地方創生案件を紹介予定。
	10	セルフブランディング	自分を社会の中でどう見せるべきか。セルフブランディング方法と肩書を考え資料化。名刺デザイン制作。
	11	ケーススタディ (課外授業)	オフィスデザイン計画の事例紹介と表現の可能性を探る。デザインした名刺のアウトプット。(ゲスト講師：FLATLABO小須田・高橋)
	12	制作B with SDGs①	グループで取り組む共通課題を策定
	13	制作B with SDGs②	解決方法のアイデア出しを行い、ビジュアライズ
	14	制作B with SDGs③	プレゼンテーション&レビュー
	15	総括	講義全体の振り返り。質疑応答
成績評価方法	授業出席率含む平常点：30% 課題評価：70%。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。		
テキスト 参考書			
講義の特徴・形式 と教員紹介	実際にスタジオにてライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員は日本最大級のストック素材販売サイトを運営する株式会社アマナイメージズのクリエイティブディレクターとして従事している。写真やデザイン部門のクリエイティブディレクターとしての豊富な経験を活かし、クリエイティブな力を鍛える授業を展開している。		

2019

区分	必修	対象	PSB1年
----	----	----	-------

科目名	スタジオ演習		
-----	--------	--	--

開講期	前後期	単位数	6
-----	-----	-----	---

講師名	林 憲治		
-----	------	--	--

授業の到達目・講義概要	<p>この授業ではスタジオ内の照明機材の基本的な使い方やライティングの基礎を学びます。全ての写真は光と影で写ります。その光と影を自由にコントロールすることで自らの写真撮影に繋がり思い通りの表現が出来るようになります。この授業ではカメラの使い方は勿論のこと光源の大きさや方向で写り方が変化することを基本にスタジオ内で学び、理解することが到達目標です。</p>		
-------------	--	--	--

授業計画	回数	主題・目的	授業予定
------	----	-------	------

前期	1	カメラについて	デジタルカメラの使い方、フィルムカメラの種類と概要
	2	光について	光源の大きさや位置変化の違い
	3	露出計について	光をコントロールするために必要な露出計の使い方
	4	大型ストロボ	取り扱い方法
	5	大型ストロボ	各自のデジタルカメラで撮影
	6	中判カメラ	人物撮影 1灯使用
	7	中判カメラ	人物撮影 2灯使用
	8	4X5カメラ	アオリ等を含めた使い方の説明
	9	4X5カメラ	フィルムを詰めて撮影
	10	4X5カメラ	フィールドカメラで屋外撮影
	11	デジタルカメラ	クリップオンストロボの使い方
	12	デジタルカメラ	カメラを撮影
	13	デジタルカメラ	カメラを撮影
	14	パソコン	パソコンで画像処理
	15	予備日	

後期	1	デジタルカメラ	各自好きな物を撮影
	2	デジタルカメラ	黒デコラ板を使って撮影
	3	デジタルカメラ	黒デコラ板を使って撮影
	4	デジタルカメラ	水のペットボトルを撮影
	5	デジタルカメラ	水のペットボトルを撮影
	6	デジタルカメラ	ガラスの撮影
	7	デジタルカメラ	ガラスの撮影
	8	デジタルカメラ	人物撮影 バストアップ
	9	デジタルカメラ	パソコンで画像処理
	10	デジタルカメラ	人物撮影 全身
	11	デジタルカメラ	モデルの撮影
	12	デジタルカメラ	見本からライティングを読み出して再現する
	13	デジタルカメラ	見本からライティングを読み出して再現する
	14	デジタルカメラ	見本からライティングを読み出して再現する
	15	予備日	

成績評価方法	授業中の積極性と提出物の評価。なお、出席が全体の2/3未満の場合は、不合格となります。
--------	---

テキスト 参考書	
-------------	--

講義の特徴・形式 と教員紹介	実際にスタジオにてライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスフォトグラファーとして、広告写真の業界において、様々な広告写真を手掛けてきた。その豊富な経験に基づき、写真の基礎、ライティングの基礎を理解させるための授業を展開している。
-------------------	---